

FAI 技能記章規程

制定 2003 年 3 月 11 日 理事会

改正 2003 年 4 月 12 日 理事会

改定 2015 年 2 月 2 日 理事会

制定の趣旨

この規程は、国際航空連盟（以下、FAI という）スポーツ規程のハンググライダー編（第 7 編）に定めてある国際技能記章を獲得しようとする者に、FAI の正会員である一般財団法人日本航空協会（以下、JAA という）の承認を受けて、日本における統括代表団体である公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟（以下、JHF という）が必要な諸制度と諸手続きを定めたものである。

この記章は各パイロットが達成できた最も優れた飛行の成果に対して授与されるものであって、その個人の名誉を表わすと共に世界各国のパイロットから同等の尊敬と待遇を受けるものである。

この記章のデザインと各技能基準は FAI ハンググライディング委員会 (CIVL) の立案・審議により、FAI スポーツ規程第 7 編のハンググライダー編に定めてあり、FAI に加盟している世界各国の何処でも同一の基準で獲得することができる。

規程の要旨

1. ハンググライダーに関する「FAI スポーツ規程による定義」が示されており、これは、このスポーツの存在の根幹を成すものである。
2. この FAI 技能記章は、「ハンググライダー・クラス 1 及びクラス 2・4」に対し（クラス 5 はクラス 2 に含まれる）「FAI デルタ記章」の銅章、銀章、金章、ダイヤモンド章を、また「ハンググライダー・クラス 3（パラグライダー）」に対し、「FAI パラグライディング記章」「FAI アクセラシー記章」の銅章、銀章、金章、ダイヤモンド章が授与される。
3. 各記章を授与されるためには、記章ごとに達成すべきいくつかの飛行科目が定められており、その飛行科目を達成するごとに飛行成績証明書を取得できる。この各記章が必要とする「各飛行科目の飛行成績証明書」に基づいて記章交付の申請を行うことができる。
(FAI 各国で発行された飛行成績証明は各国で有効である)

4. 各飛行科目を達成したことの証明には、すべて公式立会人の証明が必要であり、通常は「FAI 技能記章検定員」がおこなう。

アキュラシー部門においてはFAI 公認大会の成績を飛行の証明とする

5. 飛行の証拠として必要手続き及び必要書式等はすべて規程で定められている。尚、局地的に行われる滞空時間飛行や監視が継続している環境を除いて、銀章&金章及びダイヤモンド章高度 飛行においては自記高度記録計（以下、バログラフという）又は認可済みフライトレコーダー（以下、GPS）を使用しなければならない。

また、飛行距離は、例外を除きすべて「大圏コースの距離」により計算される。

6. 飛行成績は、達成された飛行の成果があれば申請できる。ただし飛行成績が達成されても、そのパイロットが48時間以内に死亡するとすべての成績は無効となる。

7. このFAI 技能記章及びこの飛行成績証明書を取得するためには、それぞれのパイロット技能証とクロスカントリー技能証及びフライヤー会員登録証が必要である。ただし、FAI スポーティング・ライセンスを所有する必要はない。

（注：日本記録挑戦飛行などの場合は予め必要となる）

検定の開催

FAI 技能記章を得るためには下記の条件を満足さなければならない。

1. 「FAI 技能記章検定員」が立ち会うこと。飛行の証拠として、必要手続き及び必要書式等は、すべて規程で定められている。尚、局地的に行われる滞空時間飛行や監視が継続している環境を除いて、銀章&金章及びダイヤモンド高度飛行においては、バログラフやGPSを使用しなければならない。また、飛行距離は例外を除き、すべて「大圏コースの距離」により計算される。

アキュラシー部門においてはFAI 公認大会の成績を飛行の証明とする。

2. 飛行成績は、達成された飛行の成果があれば申請できる。ただし、飛行成績が達成されても、そのパイロットが48時間以内に死亡するとすべての成績は無効になる。

3. バログラフ又はGPSは認定されていなければならない。

①FAI スポーツ規程に登録されたものでなければならない。

②JHF 指定の検定機関で精度証明を受けたものでなければならない。

③JHF に登録手続きが完了したものでなければならない。

記章基準

クラス 1 & 2 (5を含む)・4 (ハンググライダー)

国際記章証明

- 1 : FAI デルタ銅章 (ブロンズ)
- 2 : FAI デルタ銀章 (シルバー)
- 3 : FAI デルタ金章 (ゴールド)
- 4 : FAI デルタ・ダイヤモンド 300 km目的地距離章
- 5 : FAI デルタ・ダイヤモンド 3000m 獲得高度章
- 6 : FAI デルタ・ダイヤモンド 300 km目的地往復/三角コース距離章

飛行成績証明

	飛行成績証明	滞空時間	獲得高度	飛行距離	目的地距離	目的地往復/三角	備考
1	デルタ銅章*	1.5 時間	500m	30km	—	—	左記のいずれか
2	デルタ銀章	3 時間	1000m	100km	—	—	左記の全て
3	デルタ金章	5 時間	2000m	150km	—	—	左記の全て
4	デルタ・ダイヤモンド 300km 目的地	—	—	—	300km	—	—
5	デルタ・ダイヤモンド 3000m 獲得高度	—	3000m	—	—	—	—
6	デルタ・ダイヤモンド 300km 目的地往復/三角コース距離	—	—	—	—	300km	—

4. 5. 6 デルタ・ダイヤモンド章は個別記録記章

4は直線距離または3箇所を経由した合計距離

6は往復または三角コースの距離

(註：*印の付いた「飛行成績証明書」は、原則として交付しない。(国際記章証明を交付する)

クラス 3 (パラグライダー)

国際記章証明

- 1 : FAI パラグライディング銅章 (ブロンズ)
- 2 : FAI パラグライディング銀章 (シルバー)
- 3 : FAI パラグライディング金章 (ゴールド)
- 4 : FAI パラグライディング・ダイヤモンド 200 km目的地距離章
- 5 : FAI パラグライディング・ダイヤモンド 3000m 獲得高度章
- 6 : FAI パラグライディング・ダイヤモンド 200km 目的地往復/三角コース距離章

飛行成績証明

	飛行成績証明	滞空時間	獲得高度	飛行距離	目的地距離	目的地往復/三角	備考
1	P 銅章*	1.5 時間	500m	30km	—	—	左記のいずれか
2	P 銀章	3 時間	1000m	75km	—	—	左記の全て
3	P 金章	5 時間	2000m	125km	—	—	左記の全て
4	P・ダイヤモンド 200km 目的地距離章	—	—	—	200km	—	—
5	P・ダイヤモンド 3000m 獲得高度章	—	3000m	—	—	—	—
6	P・ダイヤモンド 200km 目的地往復/三角コース距離章	—	—	—	—	200km	—

P : パラグライディング

4. 5. 6 パラグライディング・ダイヤモンド章は個別記録記章

4は直線距離または3箇所を経由した合計距離

6は往復または三角コースの距離

(註 : *印の付いた「飛行成績証明書」は、原則として交付しない。(国際記章証明を交付する))

クラス 3 (パラグライダーアキュラシー)

国際記章証明

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 : FAI アキュラシー銅章 | 1m 以内の記録を 4 本連続 |
| 2 : FAI アキュラシー銀章 | 4 本連続のトータルが 1m 以内 |
| 3 : FAI アキュラシー金章 | 10cm 以内の記録を 4 本連続 |
| 4 : FAI アキュラシー・ダイヤモンド章 | 4 本連続のトータルが 10cm 以内 |

飛行成績証明

- 1 : FAI アクセラシー銅章
- 2 : FAI アクセラシー銀章
- 3 : FAI アクセラシー金章
- 4 : FAI アクセラシー・ダイヤモンド章

附 則

1. FAI スポーツ規程が改正されたときは、その規程に従い改正されるものとする。

2. (実施の時期)

この規程の一部改正（規程の要旨 2、5、7、検定の開催・記章基準・クラス 1・2、飛行成績証明・1 : デルタ銅章、2 : パラグライダー（旧イーグル）銀章、7・FAI 技能記章検定試験・7-1-1) FAI パラグライダー（旧イーグル）記章の a)）は、2003 年 4 月 12 日から実施する。

3. 改定 この規程の一部改正 アクセラシー部門は 2015 年 x 月 xx 日から実施するが、飛行記録の申請対象は 2012 年 5 月 1 日以降の飛行とする。

FAI 技能記章交付規程

制定 2003 年 3 月 11 日 理事会

改正 2003 年 4 月 12 日 理事会

改定 2015 年 2 月 2 日 理事会

前 文

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟（以下、JHF という）は、世界の航空スポーツを代表する唯一の統括団体である国際航空連盟（以下、FAI という）の正会員として日本を代表する一般財団法人日本航空協会（以下、JAA という）の承認の下にこの規程を制定する。

1. 目 的

1-1. この規程は、FAI スポーツ規程に定める FAI デルタ記章（ハンググライダー）、FAI パラグライダー記章及び FAI アクセラシー記章を取得しようとする者、及びこれらの FAI 技能飛行成績証明書を取得する為に行われる各飛行を FAI スポーツ規程に基づき管理し、審査し、判定し、飛行成績を証明すると共に、名誉ある FAI 技能記章を達成者に授与することを目的とする。

2. FAI 技能記章

2-1. JHF 会長は、申請により FAI デルタ記章、FAI パラグライダー記章及び FAI アクセラシー記章の授与を行う。

2-2. FAI デルタ記章は、申請者に次の各国際技能記章を授与することによって行う。

1) FAI デルタ銅章

2) FAI デルタ銀章

3) FAI デルタ金章

4) FAI デルタ・ダイヤモンド章

2-3. FAI パラグライダー記章は、申請者に次の各国際記章を授与することによって行う。

- 1) FAI パラグライダー銅章
- 2) FAI パラグライダー銀章
- 3) FAI パラグライダー金章
- 4) FAI パラグライダー・ダイヤモンド章

2-4. FAI アクセラシー記章は、申請者に次の各国際記章を授与することによって行う。

- 1) FAI アクセラシー銅章
- 2) FAI アクセラシー銀章
- 3) FAI アクセラシー金章
- 4) FAI アクセラシー・ダイヤモンド章

3. FAI 技能記章飛行成績証明

3-1. JHF 会長は、申請により FAI デルタ記章飛行成績証明及び、FAI パラグライダー記章飛行成績証明及び FAI アクセラシー記章飛行成績証明を行う。

3-2. FAI デルタ記章飛行成績証明は、申請者に達成された飛行成績の科目毎に飛行成績証明書を交付することによって行う。

3-3. FAI パラグライダー記章飛行成績証明は、申請者に達成された飛行成績の科目毎に飛行成績証明書を交付することによって行う。

3-4. FAI アクセラシー記章飛行成績証明は、申請者に達成された飛行成績の科目毎に飛行成績証明書を交付することによって行う。

4. FAI 記章及び FAI 記章飛行成績証明の申請資格

4-1. FAI デルタ記章の申請及びFAI デルタ記章飛行成績証明の申請は、次に定める資格及び経歴を有する者でなければ申請することができない。

- 1) FAI デルタ銅章、銀章、金章及びダイヤモンド章の申請者は、ハンググライダーパイロット技能証とハンググライダークロスカントリー技能証を有すること。ただしFAI デルタ銅章の滞空時間・獲得高度についてはハンググライダークロスカントリー技能証保有を必須としない。
- 2) 有効なフライヤー会員登録証を有すること。
- 3) 20才未満の者については、保護者の承認を得ること。

4-2. FAI パラグライダー記章の申請及びFAI パラグライダー記章飛行成績証明の申請は、次に定める資格及び経歴を有する者でなければ申請することができない。

- 1) FAI パラグライダー銅章、銀章、金章及びダイヤモンド章の申請者は、パラグライダーパイロット技能証とパラグライダークロスカントリー技能証を有すること。ただしFAI パラグライダー銅章の滞空時間・獲得高度についてはパラグライダークロスカントリー技能証保有を必須としない。
- 2) 有効なフライヤー会員登録証を有すること。
- 3) 20才未満の者については、保護者の承認を得ること。

4-3. FAI アクセラシー記章の申請及びFAI アクセラシー記章飛行成績証明の申請は、次に定める資格及び経歴を有する者でなければ申請することができない。

- 1) FAI アクセラシー銅章、銀章、金章及びダイヤモンド章の申請者は、パラグライダーパイロット技能証を有すること。
- 2) 有効なフライヤー会員登録証を有すること。
- 3) 20才未満の者については、保護者の承認を得ること。

4-4. 外国国籍を有する者であってFAI 正会員が授与し、又はその操縦者が所属する国のFAI 正会員からハンググライダーに関して権限の委譲を受けた団体の授与するハンググライダー操縦者の資格証書を有する者は、日本国内に於いてFAI デルタ記章飛行成績証明を取得する為の飛行を行い、同飛行成績証明の申請を行うことができる。ただし、飛行に際し、4-1. の2)、3)に適合していなければならない。

4-5. 外国国籍を有する者であつて FAI 正会員が授与し、又はその操縦者が所属する国の FAI 正会員からパラグライダーに関して権限の委譲を受けた団体の授与するパラグライダー操縦者の資格証書を有する者は、日本国内に於いて FAI パラグライダー記章飛行成績証明を取得する為の飛行を行い、同飛行成績証明の申請を行うことができる。ただし、飛行に際し、4-2. の2)、3) に適合していなければならない。

4-6. FAI アクセラシー記章の申請は、本人の所属する国の FAI 正会員、又は FAI 正会員からパラグライダーに関して権限の委譲を受けた団体の承認を得た場合に限る。また、FAI アクセラシー記章の申請は、本人の所属する国の FAI 正会員、又は FAI 正会員からパラグライダーに関して権限の委譲を受けた団体の承認を得た場合に限る。ただし、飛行に際し、4-3. の2)、3) に適合していなければならない。

5. 申請資格の制限

5-1. この規程の14-1に定める技能証明の取り消しを受け、その日から2年を経過しない者は、申請することができない。

5-2. JHF 会長は、技能証明の申請に関し、不正の行為のあった者について、2年以内の期間に限り、技能証明の申請を受理しないことができる。

6. FAI 技能記章の効力

6-1. FAI 記章を授与された者は、それぞれの達成された成果を国際的に評価され、その名誉を顕わす記章を佩用することができる。

6-2. FAI 記章に対応する紋章、ワッペン等が定められたときは、その授与された記章に対応するものを着用することができる。

7. FAI 技能記章検定試験および 証明

7-1. FAI デルタ記章を取得する為の技能記章検定試験は、次に定める飛行科目とする。

- 1) FAI デルタ銅章(下記のいずれかを行うこと)
 - a) 少なくとも 30km の距離飛行を行うこと。
 - b) 又は、少なくとも 1.5 時間の滞空飛行を行うこと。
 - c) 又は、少なくとも 500m の獲得高度飛行を行うこと。
- 2) FAI デルタ銀章(下記の全てを行うこと)
 - a) 少なくとも 100 kmの距離飛行を行うこと。
 - b) 少なくとも 1000m の獲得高度飛行を行うこと。
 - c) 少なくとも 3 時間の滞空飛行を行うこと。
- 3) FAI デルタ金章(下記の全てを行うこと)
 - a) 少なくとも 150 kmの距離飛行を行うこと。
 - b) 少なくとも 2000m の獲得高度飛行を行うこと。
 - c) 少なくとも 5 時間の滞空飛行を行うこと。
- 4) FAI デルタ・ダイヤモンド章

次の3種の各ダイヤモンド章とする。

- a) 少なくとも 300 kmの目的地距離飛行を行うこと。
- b) 少なくとも 3000m の獲得高度飛行を行うこと。
- c) 少なくとも 300 kmの目的地往復距離飛行又は三角コース距離飛行を行うこと。

7-2. FAI パラグライダー記章を取得する為の技能記章検定試験は次に定める飛行科目とする。

1) FAI パラグライダー銅章(下記のいずれかを行うこと)

- a) 少なくとも 30 kmの距離飛行を行うこと。
- b) 少なくとも 1.5 時間の滞空飛行を行うこと。
- c) 少なくとも 500m の獲得高度飛行を行うこと。

2) FAI パラグライダー銀章(下記の全てを行うこと)

- a) 少なくとも 75 kmの距離飛行を行うこと。
- b) 少なくとも 3 時間の滞空飛行を行うこと。
- c) 少なくとも 1000m の獲得高度飛行を行うこと。

3) FAI パラグライダー金章(下記の全てを行うこと)

- a) 少なくとも 125 kmの距離飛行を行うこと。
- b) 少なくとも 5 時間の滞空飛行を行うこと。
- c) 少なくとも 2000m の獲得高度飛行を行うこと。

4) FAI パラグライダー・ダイヤモンド章

次の3種の各ダイヤモンド章とする。

- a) 少なくとも 200 kmの目的地距離飛行を行うこと。
- b) 少なくとも 3000m の獲得高度飛行を行うこと。
- c) 少なくとも 200 kmの目的地往復距離飛行又は三角コース距離飛行を行うこと。

7-3. FAI アクセラシー記章を取得するには FAI 公認大会に出場し、次に定める飛行科目を行うこととする。

- 1) FAI アクセラシー銅章
1m 以内の記録で 4 本連続着地すること
- 2) FAI アクセラシー銀章
4 本連続のトータルが 1m 以内で着地すること
- 3) FAI アクセラシー金章
10cm 以内の記録で 4 本連続着地すること
- 4) FAI アクセラシー・ダイヤモンド章
4 本連続のトータルが 10cm 以内で着地すること

7-4. 検定試験の為の飛行は、すべて FAI スポーツ規程に定められた規則に従い、操縦者が単独で自らの判断で実施しなければならない。(飛行科目を達成させる為、ラジオや信号等による誘導や情報の提供は、安全確保のための無線通信以外は禁じられている)

7-5. 検定試験は、FAI スポーツ規程に定められた各飛行科目を操縦者が単独で達成し実証することであり、すべて実技試験とする。

7-6. 検定試験は、操縦者が規程に定められた飛行科目を達成してから 48 時間以内に死亡した場合、FAI スポーツ規程の定めるところにより、その飛行は無効となる。

7-7. 検定試験は、JHF 会長の任命又は証認する FAI 技能記章検定員(公式立会人)の監督と立会いの下で行わなければならない。

7-8. 検定試験をおこなった FAI 技能記章検定員(公式立会人)は、速やかにその試験の結果を JHF 会長に報告しなければならない。

7-9. FAI アクセラシー章については、検定試験ではなく FAI 公認大会における、競技最終結果に基づく記録により飛行証明とする

8. FAI 技能記章資格及び FAI 技能記章飛行成績証明の取り消し又は制限

8-1. JHF 会長は、FAI デルタ記章又は FAI デルタ記章飛行成績証明書の所有者が、その資格取得の為の飛行を行うにあたり、スポーツ精神に反し、非行又は重大な過失があった場合は、その資格及び飛行成績証明を取り消し、又は1年以内の期間を定めてその資格及び飛行成績証明を停止し又は制限を行う事ができる。また、FAI デルタ記章の記章資格を取り消された者は、その該当する FAI デルタ記章を直ちに JHF に返納しなければならない。

8-2. JHF 会長は、FAI パラグライダー記章又は FAI パラグライダー記章飛行成績証明書の所有者がその資格取得の為の飛行を行うにあたり、スポーツ精神に反し、非行又は重大な過失があった場合は、その資格及び飛行成績証明を取り消し、又は1年以内の期間を定めてその資格及び飛行成績証明を停止し又は制限を行う事ができる。また、FAI パラグライダー記章の記章資格を取り消された者は、その該当する FAI パラグライダー記章を直ちに JHF に返納しなければならない。

8-3. JHF 会長は、FAI アクセラシー記章又は FAI アクセラシー記章飛行成績証明書の所有者がその資格取得の為の飛行を行うにあたり、スポーツ精神に反し、非行又は重大な過失があった場合は、その資格及び飛行成績証明を取り消し、又は1年以内の期間を定めてその資格及び飛行成績証明を停止し又は制限を行う事ができる。また、FAI アクセラシー記章の記章資格を取り消された者は、その該当する FAI アクセラシー記章を直ちに JHF に返納しなければならない。

9. FAI 技能記章及び FAI 技能記章飛行成績証明の申請手続き

9-1. FAI デルタ記章または FAI デルタ記章飛行成績証明を申請しようとする者は、「FAI 技能記章申請書」に必要事項を記入し記名捺印（又は署名）の上、FAI スポーツ規程に定める各飛行の種類毎に必要とする「FAI 記章飛行成績証明書」及び「証跡」を添付し、JHF 会長に提出しなければならない。

9-2. FAI パラグライダー記章または FAI パラグライダー記章飛行成績証明を申請しようとする者は、「FAI 技能記章申請書」に必要事項を記入し記名捺印（又は署名）の上、FAI スポーツ規程に定める各飛行の種類毎に必要とする「FAI 記章飛行成績証明書」及び「証跡」を添付し、JHF 会長に提出しなければならない。

9-3. FAI アクセラシー記章またはFAI アクセラシー記章飛行成績証明を申請しようとする者は、「FAI 技能記章申請書」に必要事項を記入し記名捺印（又は署名）の上、FAI スポーツ規程に定める各飛行の種類毎に必要とする「FAI 記章飛行成績証明書」及び「証跡」を添付し、JHF 会長に提出しなければならない。

10. FAI 技能記章の申請料

10-1. FAI デルタ記章の申請を行う者は JHF に別に定める申請料を納めなければならない。

- 1) FAI デルタ銅章（ブロンズ）
- 2) FAI デルタ銀章（シルバー）
- 3) FAI デルタ金章（ゴールド）
- 4) FAI デルタ・ダイヤモンド 300 km目的地距離章
- 5) FAI デルタ・ダイヤモンド 3000m 獲得高度章
- 6) FAI デルタ・ダイヤモンド 300 km目的地往復／三角コース距離章

10-2. FAI パラグライダー記章の申請を行う者は JHF に別に定める申請料を納めなければならない。

- 1) FAI パラグライディング銅章（ブロンズ）
- 2) FAI パラグライディング銀章（シルバー）
- 3) FAI パラグライディング金章（ゴールド）
- 4) FAI パラグライディング・ダイヤモンド 200 km目的地距離章
- 5) FAI パラグライディング・ダイヤモンド 3000m 獲得高度章
- 6) FAI パラグライディング・ダイヤモンド 200km 目的地往復／三角コース距離章

10-3. FAI アクセラシー記章の申請を行う者は JHF に別に定める申請料を納めなければならない。

- 1) FAI アクセラシー銅章
- 2) FAI アクセラシー銀章
- 3) FAI アクセラシー金章
- 4) FAI アクセラシー・ダイヤモンド章

11. FAI 技能記章飛行成績証明の申請料

11-1. FAI 技能記章飛行成績証明の申請を行う者は、JHF に別に定める申請料を納めなければならない。

- 1) 滞空時間飛行成績証明
- 2) 獲得高度飛行成績証明
- 3) 直線距離飛行成績証明
- 4) 目的地距離飛行成績証明
- 5) 目的地往復距離飛行成績証明
- 6) 三角コース距離飛行成績証明

12. FAI 技能記章および FAI 技能記章飛行成績証明の再交付申請手続き

12-1. FAI デルタ記章、FAI パラグライダー記章、FAI アクセラシー記章および FAI 技能記章飛行成績証明の再交付を申請する者は、「FAI 技能記章申請書」に必要事項を記入し、再交付を明記し、記名捺印（又は署名）の上、JHF 会長に提出しなければならない。

12-2. FAI 技能記章飛行成績証明書の再交付を申請する者は、別に定める申請料を JHF に納めなければならない。

- 1) FAI デルタ記章再交付（各記章）
- 2) FAI パラグライダー記章再交付（各記章）
- 3) FAI アクセラシー記章記章再交付（各記章）
- 4) FAI 技能記章飛行成績証明再交付（各飛行）

13. 飛行管理及び検定・立会の費用

13-1. 滞空時間の計測に用いる時計は、通常の時刻（時、分）を正しく明示することのできる時計（腕時計等）でよい。ただし、その時刻は、飛行直前および飛行直後からそれぞれ3時間以内に標準時刻と照合し、誤差を確認するものとする。

13-2. 獲得高度及び距離飛行の計測に用いるバログラフは、JHF 会長の承認する型式のものであって、使用前1年以内に JHF 会長の指定または承認する試験所の検定を受け、その検定表を付けて JHF に登録しななければならない。また、JAA に登録したのもも同様に使用することができる。

13-3. バログラフにより滞空時間を計測しようとするときは、時間計測について、前条に定める承認を得たものでなければならない。

13-4. FAI 技能記章取得の為に飛行を行う操縦者は、原則として飛行管理及び検定・立合に関する費用をすべて負担しなければならない。ただし、費用のすべて又は一部について免除される場合は、この限りでない。

13-5. FAI 技能記章取得の為に飛行会の参加料がその主催者により定められている場合、その飛行会の参加者は、その定められた金額を主催者に納めなければならない。ただし、これらの金額は、不当なものであってはならない。

14. 罰 則

14-1. この規程に違反し、又は不正の行為、若しくは不正の手段により FAI 技能記章の授与及び FAI 技能記章飛行証明書 of 交付を受けた者は、その資格ならびに成績を取り消され、その FAI 技能記章及び FAI 技能記章飛行成績証明書を直ちに返納しなければならない。

14-2. 資格を取り消された者は、その日から2年間、FAI 技能記章及び FAI 技能記章飛行成績証明の申請を行う事ができない。

15. 雑 則

15-1. 飛行に関する運営と安全管理は、その飛行を行う操縦者が行わなければならない。

15-2. 飛行に関して発生する第三者賠償責任はその飛行を行う操縦者が負わなければならない。

15-3. FAI 技能記章取得の為に飛行を行う操縦者の飛行を認める出発場所及び着陸場所の各管理者は、第三者に対する賠償責任について対処しなければならない。

15-4. JHF 会長は、必要があるとき、FAI 技能記章取得の為に飛行を行う操縦者又はその関係者に対し、JHF 会長の指定又は承認する医師又は病院等の作成する身体検査証明書及びその他の必要とする書類等の提出を求めることができる。

15-5. JHF 会長から FAI 技能記章取得の飛行に関し、身体検査証明書その他の書類等の提出を求められた者は、10 日又は指定された期日以内に、すみやかに提出しなければならない。

15-6. FAI 技能記章に対応する略式記章、ワッペン、その他の様式及びそれらの交付申請手続きについては、別に定める。

附 則

1. FAI スポーツ規程が改正されたときは、その規程に従い改正されるものとする。

2. (実施の時期)

この規程の一部改正（規程の要旨 2、5、7、検定の開催・記章基準・クラス 1・2、飛行成績

証明・1：デルタ銅賞、2：イーグル銀賞、7・FAI 技能記章検定試験・7-1-1) FAI イーグル記章の a)) は、2003 年 4 月 12 日から実施する。

3. 改定 この規程の一部改正 アキュラシー部門は 2015 年 x 月 xx 日から実施するが、飛行記録の申請対象は 2012 年 5 月 1 日以降の飛行とする。

FAI 技能記章(アキュラシー章) 申請書

公益社団法人 日本ハング・パラグライディング連盟 会長 殿

申請日付 年 月 日

1 申請内容

(1) 申請対象(アキュラシー)	記章 / 飛行成績証明 銅・銀・金・ダイヤモンド
(2) パイロットの自筆サイン	

2 一般事項

(1) 氏名	
(2) 国籍	
(3) 性別	
(4) NAC	日本航空協会 The Japan Aeronautic Association (JAA)

3 FAI認定競技会詳細

(1) 競技会名称	
(2) 開催期間(年月日)	
(3) 開催場所(国と地名)	
(4) 大会主催者名(クラブ名)	
(5) 大会主催責任者氏名	
(6) 本大会期間中の有効フライト本数	

*複数の競技会記録により申請する場合は、全ての競技会について3(1)~(6)をコピーして記載すること。

4 フライト詳細

(1) 連続したフライトの合計点	記入例:8点
(2) この申請に掛かる連続した各フライトの得	記入例:2.0.5.1点
(3) 添付成績表の該当データ指定	記入例: *月*日、ラウンド○本目、*点 1本目 2本目 3本目 4本目
(4) テイクオフ方法	丘/フットランチ、ウィンチトーイング、自動車トーイング、その他()
(5) グライダー製造者 グライダー名	

申請書制定 2015/02/02

一部変更 2015/07/07

申請対象の全フライトについてはオフィシャルデータをExcel表(シート)で添付すること。
或いは、主催者サイン入りの全競技記録を添付する事

2015年7月17日

アキュラシー章申請料

アキュラシー銅章 ￥2000

アキュラシー銀章 ￥2000

アキュラシー金章 ￥3000

アキュラシーダイヤモンド章 ￥5000